

< 報道発表資料 >

(経済・大学同時)

令和 8 年 6 月 2 2 日

(地独) 京都市産業技術研究所

京都市産業観光局スタートアップ・産学連携推進室

令和 8 年度 評価技術講習会 － 異物分析・におい分析・微量分析－の実施

(地独) 京都市産業技術研究所では、地域企業の技術者や大学の研究者などが材料分析の基礎を体系的に学べる講習会を開催します。

令和 8 年度は、「異物分析」、「におい分析」、「微量分析」をテーマにした講習会を実施いたします。また、新たに各テーマに関する取り組み事例や前処理技術のご紹介など、外部講師による特別講演（有料）も行いますので、多数のご応募をお待ちしています。




● 開講日程及び講習内容（全 9 回：特別講演 3 回+6 回）

		日 時	講義及び実習内容			
異物分析	第 1 回	令和 8 年 7 月 31 日	異物分析シリーズ 特別講演	現場を悩ませる“見分けにくい違い” ～原因特定のための『目利き』と『数値化』の技術～ (株)住化分析センター		
		13:30～16:30		異物分析における分析手法の選択肢 (株)堀場製作所		
	第 2 回	8 月 14:00～16:00	走査電子顕微鏡観察	表面観察、元素分析		
	第 3 回	9 月 14:00～16:00	蛍光 X 線分析法	各種材料の無機成分分析		
第 4 回	10 月 14:00～16:00	フーリエ変換 赤外分光分析法	有機材料の判別			
におい分析	第 5 回	11 月 13 日	におい分析シリーズ 特別講演	悪臭防止法の測定方法を利用したにおいの分析 (官能評価と機器分析) 近江オドエアサービス (株)		
				GCMS を利用したにおいの分析 (GCMS、におい嗅ぎ GCMS、島津 GC/MS 異臭分析システム) (株)島津テクノリサーチ		
第 6 回	12 月 14:00～16:00	ガスクロマトグラフィー 質量分析法	有機化合物の測定			
微量分析	第 7 回	令和 9 年 1 月 15 日	微量分析シリーズ 特別講演	元素分析における前処理のいろは ジーエルサイエンス (株)		
		第 8 回		2 月 14:00～16:00	ICP 発光分析法 ICP 質量分析法	水溶液中の微量金属成分の測定
		第 9 回		3 月 14:00～16:00	イオンクロマトグラフィー	水溶液中の陰イオン成分の測定

※【特別講演】（有料、対面形式のみ）：外部講師による事例紹介、前処理技術など。

※【特別講演以外】「測定データの見方」など基礎的な事例紹介や開発事例について、講義及び実習（デモ測定）により解説。講義のみ（対面+オンライン形式）で実施。

- **会 場** (地独) 京都市産業技術研究所、一部オンライン形式 (Zoom)
〒600-8815 京都市下京区中堂寺粟田町 91 番地 KRP9 号館南棟
- **対 象** ・企業技術者、大学の研究者など材料分析法を基礎から学びたい方
・分析は外部委託しているが、測定原理から学びたい方
・測定経験はあるが、前処理及び測定法などを再確認したい方など
- **講 師** 外部講師、(地独) 京都市産業技術研究所 研究員など
- **参加料** 【特別講演】(第1回、5回、7回) 各回2,000円
※京都市産業技術研究所ユーザーズコミュニティ会員1,000円
【特別講演以外】無料
- **実施方法** 【特別講演】対面形式
【特別講演以外】対面形式(講義及び実習)及びオンライン形式(講義)
- **定 員** 【特別講演】30名
【特別講演以外】講義及び実習(対面形式)：5～10名
講義(オンライン形式)：30名程度
※特別講演以外(対面形式)は1社1名、応募多数の場合は抽選
※抽選は、京都市産業技術研究所ユーザーズコミュニティ会員優先
- **申込方法** (地独) 京都市産業技術研究所「評価技術講習会」ページの参加申込フォームからお申込みください。
※講習会毎の申込期間・定員などは同ページで随時お知らせします。

異物分析	におい分析	微量分析
<p>製品から小さな欠片 見つかった。混入経 路を調査したい。</p> 	<p>製品の付加価値とし て、消臭性能を確認 したい。</p> 	<p>部品の表面に異物が付 着していないか、清浄 度が求められている！</p> 
<p>Q：欠片の形状と成分が知りたい。</p> <p>走査電子顕微鏡観察</p> <p>A：形状・表面特徴と元素分布の 両面で解析できます。</p>	<p>Q：製品の消臭性能を評価できるか？</p> <p>ガスクロマト質量分析法</p> <p>A：一定時間後に臭気成分の濃度 比較により、評価できます。</p>	<p>Q：溶出試験で評価できるか？</p> <p>ICP発光分析法</p> <p>A：溶出量の違いにより、部品の 清浄度確認ができます。</p>

<お問合せ先>

(地独) 京都市産業技術研究所

担当：製品化・人材育成支援グループ 南・島村、経営企画室 土田

E-mail：kikiseminar@tc-kyoto.or.jp

「評価技術講習会」ページ：<https://tc-kyoto.or.jp/hyokagijutukoshu/>

電話：075-326-6100 (代表)



「評価技術講習会」
ページ



京都市産業技術研究所
メールマガジン

講習会の最新情報をお届けします。
是非ご登録ください！



京都バイオ計測センター
ホームページ